

中国地方の障害者施設が手作り菓子の味を競う「ひろしまS-1サミット」が23日、広島市南区のマツダスタジアムであった。第1もみじ作業所（中区）の「もみせん」がスナック部門、ひとは工房（安芸高田市）の「縄文あいす」がスイーツ部門でそれぞれ最優秀賞に選ばれた。

広島、島根、鳥取3県の14施設が自慢の一品を持ち寄り、コンコースで販売。入場者500人が食べ比べ、人気投票した。もみせんは、コメの生地をしようゆで味付けした

障害者施設 スイーツバトル

「S-1」に3県14施設 南区



菓子を箱に詰める障害者施設の通所者（右側）と職員

揚げせんべい。縄文あいしくて香りのいい、初めうと、県が2012年にすは、アイスクリームにて食べる菓子がたくさん スタート。ことしは、広地元の甘酒を練り込んだ「あった」と話した。島東洋カープのファン感だ。

S-1サミットは、障 謝デーの協賛イベントと安佐北区の可部小6年 害者の作った菓子をPR して開いた。

松村龍馬君(11)は「おい して販路拡大につなげよ

(山本乃輔)